

土浦平和の会

ニュースNO・4 1994年8月

発行 土浦平和の会
事務局 土浦市神立町2664-2
TEL 31-9122

土浦8・15平和のつどい盛会

1994年土浦平和のつどいは、土浦平和の会と土浦平民懇(土浦平和と民主主義をめざす懇談会)の共催で行なわれました。つどいは中国侵略の記録映画「侵略」を観た後、満蒙開拓団と一緒に保健婦として渡満し、看護婦・託児所までやられたという磯きささんの体験談、満州鉄道勤務から撤退の途中で捕虜になり、シベリアに抑留されたという千代田町の長沢三郎さんの体験談を聞きました。

磯さんは「軍隊が一番に撤退しました。私たちが撤退する時は橋もなくて、河を渡るとき沢山の人が流されて死にました。日本軍が橋を爆破して逃げたのです。」「結局私たちは見捨てられたんだよね。」という言葉は実感がこもっていて、戦争の悲惨な実態を思い知らせる響きをもっていました。長沢さんも、「軍と一緒に列車で撤退したが、途中でつかまってシベリヤに連れて行かれた。」「寒さとひもじさの中で560人中200人以上が死んだ。」という話も、何度か聞いたことはあるけれども、実感をもって迫るものがありました。

会場には、ひろしま・ながさきの被爆写真も展示され、参加者も例年とは違う顔ぶれも見られ、会場をほぼ満席にする30名が熱心に聞き入りました。中島代表理事は閉会の挨拶の中で「この前の戦争の日本軍による侵略の実態と米軍による皆殺しの実態を両方学ぶことができ、加害の実態と被害の実態を知ることができたのは良かった。」と結びました。参加者の中では、来年の敗戦50周年にむけて何ができるのか。核兵器廃絶の署名運動や、「この子らの夏」の公演など、多彩な平和活動に取り組み、来年の集会を大きく盛り上げたいという声が聞かれました。

長野県

松代大本営跡.見学の旅

とき 1994年10月 1日(土)、2日(日)

費用 2万円(貸切りバス代・宿泊費・見学科・資料代等)

宿舎 国民宿舎松代荘(長野市松代)

見学場所 小諸懐古園 大本営跡 川中島古戦場など

その他 真田宝物館 佐久間象山記念館などは自由見学

行事ごよみ

9月 1日 土浦平和の会理事会(第4回) 9月 4日 土浦母親大会(土浦第2小学校)
17日 県平和委員会理事会 6日 731部隊つくば展(つくば美術館)